

港南台タウンカフェ通信

ふーのん

風わたる穏やかなまちの情報誌



2023.3 Vol. 13

¥こころ



特集 | 中学生をレポート
「今、部活、どうしてる？」

特集 | いろいろフェスタ in 港南台 2022

MAP | 港南台イベントこよみ

開かれた保育でまちとつながる
森と自然の保育園 SORA 施設長 藤本尚子さん

「こころBOXレポート」close up 生き生きひと
礼に始まり 礼に終わる
杉浦紀子バトンスタジオ 主宰 杉浦紀子さん



contents



02 コドコから？



03 開かれた保育でまちとつながる
森と自然の保育園SORA 施設長 藤本尚子さん



05 特集 | 中学生をレポート
「今、部活、どうしてる？」



07 [ころBOXレポート]close up 生き生き ひと
礼に始まり 礼に終わる
杉浦紀子パトンスタジオ 主宰 杉浦紀子さん



09 横浜港南台商店会
「いろいろフェスタ in 港南台 2022」



11 横浜港南台商店会 会員マップ
港南台イベントこよみ



13 港南台まちなか1000人インタビュー [vol.13]
しあわせだなあと感じるときは？



14 編集後記

ココロから？



開かれた保育で まちとつながる

森と自然の保育園SORA
施設長 藤本尚子さん



レポート◎岡野 富茂子、菅野 裕子、藤沼 理保 文◎菅野 裕子 撮影◎藤沼 理保
取材日◎2022.12.15

港南台駅から徒歩10分。お洒落な外観、木枠のガラス扉は大きくて、ついで中を覗いてみたくなる。『森と自然の保育園SORA』は2019年4月に開園。当時、「港南台のまち全体が園庭」と書かれた大きなポスターがとても印象的だった。

通りに面した扉を入ると、居心地の良い地域コミュニティスペース。ここは事務室も兼ねていて、毎月第二土曜日、誰でも参加できるオープンデイを開催している。「野菜やエコグッズの販売、おやつや試食などもやっています。地域と保育室をつなぐ場所ですね」と施設長の藤本尚子さん。

その奥の保育室には仕切りが無い。クラス分けはせず、年齢や発達によってチームで活動する。現在、0〜4歳の園児22名が在籍。スタッフは16名というから手厚い保育体制だ。

活動は外遊びが中心で、雨の日もほぼ毎日近くの公園に出かける。園から歩いて5分ほどの北公園。園児は思いおもいに斜面を駆け上がったり、虫を探して樹皮の裏を覗き込んだり。大きなツツジの植え込みに誘われ潜り込むと、奥に赤い実がなっていた。「自然の中には驚きや発見がいっぱい。大人が何かしてあげるのではなく、環境や子ども同士の関わりの中で『子どもが自ら育つ』ということを大切にしていますね」。藤本さんは一人ひとりに寄り添いながら、胸元のインカムでさりげな

く、スタッフと5分毎に人数確認していた。

『なおけた』。藤本さんは、園ではこう呼ばれている。園児も、スタッフ、保護者同士もニックネームで呼び合う。「保護者の方は最初躊躇されますが、関係ができてくると気軽に呼んでもらえます。基本的には、大人も子どももフラットな関係。保育園で生活を共にする仲間として接しています」。



オープンデイで小さくなった服や靴を販売



米粉を使ったおやつ

施設長の藤本さん(左)と代表の柴山さん(右)



スタッフがくつろぐための
コーヒーマシン

旧来の保育園のイメージとは違いますね

藤本さんは、新任で公立保育園に7年間勤務した後、「広い世界を見てみたくて」1年間、ニュージージーランドへ。自然の心地よさ、偉大さを知り、小学校や幼稚園のボランティアで経験したことが、今行っている保育に大きく影響しているという。「向こうは個に合わせた活動がメインで、保育園で一斉に何かする時間は一切無し。日本で当たり前と思っていた、子どもとは、保育とは、という概念を覆されました」。帰国後、自然体験活動やいくつかの保育園勤務を経験し、「もつと小規模な園で自然を活用し、地域の環境に溶け込んだ保育をしたい」と思うようになった。

現在、園と共に経営する柴山和代さん(しばちゃん)と出会ったのはその頃。柴山さんは、



娘を通わせた保育園で毎年多くの保育士が辞めていく現実を知り、関心を持ったことから保育士の資格を取得した。「保育の世界」は、外から見るのと内側から見るとでは全く違うことに驚いたという。

二人で合同会社を立ち上げ、内閣府が行う企業主導型保育事業制度の助成金を利用して保育園を開設することに。グーグルマップ片手に、駅近で自然が残っている所を探した。県内の広い範囲で探し回っている中で、目に留まったのが港南台北公園。「行ってみるといい感じの斜面！集会所もログハウスもある。いろんな世代の人と自然に交流できる公園だと、その近くにある今の場所に決めました。歩いていける距離にプレイパークがあり、近くに瀬上の自然がある。すごいことですよ」と二人は口を揃える。

「それに、地域の子とも関係の団体や十数園ある保育園が連携し、子どもたちのために活動している『港南台子育て連絡会』もあります。こんな地域は他にありません」。

SNSで園の様子を発信されていますね

「安全のためとはいえ、閉ざされた保育では誤解が生じます。地域に開かれていれば顔見



知りになり、直接意見も言ってもらえるし、話し合いもできますよね。子どもの環境、保育士の働く環境などをもっと発信する必要があると思います」と柴山さん。インスタグラムやHPを駆使して、園での日々の出来事や思いを綴っている。

「公園などの出かけた先で、大人がまず地域の方に声を掛けてみる。大人が仲良くしていれば、子どもは安心して地域の人に話しかけるようになります。そこに温かい交流が生まれ、みんなが笑顔になる。地域の安心感につながりますよね」。まち全体が学びの場。お二人の話から、『港南台のまち全体が園庭』、その意味が分かった気がした。

通りすがりのの方に園を覗いて欲しいし、親子連れでなくてもどんどん関わって欲しい。園が目指すのは、地域に開かれた保育だ。「SORA」という港南台に生まれた新しい風。この春のような温かい風が、まちに優しさを運んでいく。



森と自然の保育園SORA (ソラ)

横浜市港南区港南台1-1-12
レアシュロス港南台1F
TEL 045-352-8207

HPはこちら



コロナ禍という条件は皆同じ
その中で一人ひとりどれだけ
自分に向き合っているか
高め合う雰囲気を作っていきたいです



コロナになっても
道具やグラウンドや先生に
恵まれていたので
充実した練習ができています

どうしてる？

みんなの部活は、今どんな感じなのか
聞かせてもらいました。

協力：港南台第一中学校（卓球部、吹奏楽部）
日野南中学校（バドミントン部、美術部、野球部）
山手学院中学校（吹奏楽部、チアダンス部）



サクソ吹いています
楽器演奏は入学して初めて
他の楽器にも興味出てきて
バンドとかも組んでみたい

幼稚園で始めて
チアダンス部があるという理由で
受験しました

それまではフルートを吹いていましたが
中学に入ってトロンボーンを始めました



音楽は楽しい 高校に行っても続けたいです



コロナ禍ならではの苦労や努力・・・
という取材陣の予想を軽く超えてきた中学生。
しなやかで伸び伸びと「好きなこと」「目標」と
向き合っていて楽しんでいました。「条件は皆同じ」
と笑い、指導者や環境への感謝も口にする彼らに、
むしろ励まされて下校した大人たちでした。

スマッシュが
綺麗に決まったときは達成感！
練習してきて良かった！と思う



細かい練習の積み重ねが大切



学年を超えて組むこともあり
楽しく上達できます

限られた時間を大切に
自分が何のための練習を
しているのか意識して実力を高めたい
(バドミントン)



教わるときは
わかりやすく説明してもらって
できるようになるのに
教えるのって難しいです(卓球)



チームプレーもいいけれど
一人で何かを
成し遂げたいと思って
入部しました(卓球)

特集 中学生をレポート

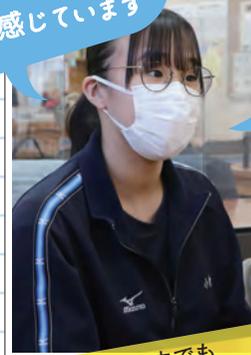
今、部活、

入学したときからWithコロナ。そんな
港南台の中学生に話を

自分の吹きたかった楽器
(トランペット)ができて
やりがいを感じています



初めて音が出たときの喜びは
今でも覚えています



制限の中でも
自分たちなりにやることを決めて
楽しみながら練習できています

練習時間は減ったけれど
その分凝縮して
やっています(バドミントン)



絵を描くことに
コロナあんまり関係ないです
(美術部)





close up

活き活き ひと

礼に始まり 礼に終わる

Noriko Sugiura

杉浦紀子バトンスタジオ 主宰

杉浦 紀子さん

レポート◎塩崎 水映子、藤沼 理保、万木 弘美 文◎万木 弘美 撮影◎藤沼 理保
取材日◎2022.12.27

バトントワリングとは、マーチングバンドと共にパレードで行うパフォーマンスと思っいませんか？
実は今、オリンピック競技種目入りを狙っている立派なスポーツなのです。

今年8月、イタリア、トリノでのバトントワリング世界選手権大会で、「杉浦紀子バトンスタジオ」所属の齋藤晟君が、ジュニア部門第3位獲得という嬉しいニュースが届けられました。多くの優秀な選手を育ててこられた杉浦紀子さん。「活き活きひと」と取材を申し込むと「港南台のためなら」と快く受けくれました。

港南台駅前を左に進み、坂道を登っていくと、左手上に「杉浦紀子バトンスタジオ」の文字が目に入ってきます。
12月27日12時、ドアを開くと、杉浦さんがにこやかに出迎えてくれました。
「クリスマスパーティーを終え、3日間、生徒たちと大掃除しました」という埃一つないスタジオ。壁一面の鏡と窓から入る光が明るいスタジオです。

——港南台にスタジオを開設されたのはどうしてですか？——

45年前、1977年に開設しまし

た。まだ団地と駅しかありませんでしたが、港南台は開けていく街と聞いていました。真新しいこの建物のテナント募集を見つけ、中に入ると、天井が高く、スタジオに使えると一目で気に入り、すぐに決めました。

礼に始まり礼に終わる

杉浦さんは、現在、一般社団法人日本バトン協会副会長、WBTF(世界バトントワリング連合)名誉会員です。バトンライフ歴55年スタジオ設立45年のキャリアの方です。1967年、高校卒業後にバトンと出会い、大阪の万国博覧会のオープニング、紅白歌合戦などでバトントワラーとして活躍し、日本でのバトントワリング普及及第一人者の「高山アイコスタジオ」で指導者としての実績も積み、独立されました。

——生徒さんへの指導において大切にされていることは何ですか？——

「礼に始まり礼に終わる」ということをスタジオ開設からの指導理念としています。

スタジオのドアを開けたら荷物を置いて「こんにちは」、帰る時



杉浦紀子バトンスタジオ

横浜市港南区港南台5-5-1
福島ショッピングセンタービル2階
TEL:045(831)6739

HPはこちら





港南区や近隣の市町村だけでなく、

は、荷物を置いて「さようなら」と言う。
返事は「はい」という仕方をするという指導です。
また生徒には3つのお約束をしています。
① 学業やお勤めを疎かにしない
② バトンの教室なのでバトンがうまくなるよう努力をする
③ 両親に感謝し、親孝行する
バトンの技術だけでなく、礼儀作法も含めた人間形成を目指しています。
指導者も、生徒たちの鏡となるように、いつも明るく憧れ慕われる存在になるように心がけています。

山梨県からレッスンに通っている生徒さんもいます。厳しいけれど優しい杉浦さんを慕って10年、20年と長く続けている生徒さんが多いです。

バトン以外の道を進まれても、ここで学んだ礼儀作法、表現力などは、社会に出て役立っているそうです。

バトントワリングの未来と目標

今年の世界選手権大会の話になると杉浦さんは嬉しそうに、「とにかく演技を見てほしい」と、齋藤晟君の動画を見せてくださいました。

曲目は、チャップリンの映画音楽「スマイル」。コロナ禍だからこそ「スマイル」は大事と、この選曲だったそうです。バトントワリングは、新体操やバレエの要素のある美しく、かっこいいスポーツでした。男子の選手が増えていることも納得できました。

杉浦さんの今の目標、「夢はバトントワリングをオリンピック競技種目に」です。2つの条件のクリアが必要となります。

- ① 世界中40ヶ国以上の国でバトントワリングが行われていること（現在39ヶ国）
- ② 競技団体の統一性 類似団体がいく

つかあり、日本国内で一つに、国際的にも一つに統一すること

アメリカ発祥のバトントワリングですが、今では日本人が世界で上位の成績を収めています。「日本人は努力家だから」と杉浦さん。バトントワリングがオリンピック競技種目になれば、メダル続出かもしれません。

5年前、バトンライフ50周年記念に、元宝塚歌劇団のトップスターをスペシャルゲストに迎え、バトントワリング初めてのディナーショーが横浜のホテルで開催されました。杉浦さんは大の宝塚ファンです。宝塚の華やかな舞台は、憧れ(今という推し)なのでしよう。

目標、夢、憧れを持つことは、生き生きと生きるために大切と教わりました。「礼に始まり、礼に終わる」その通りの丁寧な対応でした。

「バトントワリングをオリンピック競技種目に」応援しています！





横浜港南台商店会 ～いろいろフェスタ in 港南台 2022～

10月8日、9日の2日間、港南台パース1Fドゥファッションプラザにて「横浜港南台商店会～いろいろフェスタ in 港南台 2022～」が開催されました。地元商店の魅力を地域の方に知ってもらおうと、横浜港南台商店会が初めて企画したもので、商店会加盟店が趣向を凝らした体験講座などを開催し、多くの人で賑わいました。



ハンドメイドワークショップ 港南台タウンカフェ



活動紹介・キャンドルホルダー作り キャンドルナイト in 港南台実行委員会



横浜港南台商店会
web サイト

親子で作ろう
オリジナルたわしとお掃除セミナー
キラッとハウス



ミニ畳作り
加藤畳店



納棺体験とお葬式相談
(株)ファミリーホール港南台



無料ハンドトリートメント
POLA THE BEAUTY 港南台店



「ふ〜のん」バックナンバー配布
港南台タウンカフェ通信編集委員会



郵便局のバイクに乗って記念撮影
横浜清水橋郵便局・港南台駅前郵便局
・港南台東郵便局



住宅・不動産

- 24 住実コンサルタント 045-833-5117
- 25 (有)アライビル 045-832-2331
- 26 (株)小川不動産 045-833-2103
- 27 (株)アイハウス 045-353-7635
- 28 (株)キクシマ 045-833-3663
- 29 (有)丸吉商事 045-831-4513
- 30 村木不動産商会 045-832-2325
- 31 (有)洋光 045-831-1831
- 32 ヨコハマファイブビル 045-832-2476
- 33 (株)リビングパートナー 045-836-2860
- 34 若林不動産(株) 045-831-8291

レジャー

- 35 ワイショップ港南台 045-833-9833
- 36 タイヤハウスオカジマ 045-833-1785
- 37 港南台タウンカフェ 045-832-3855
- 38 (株)一幸堂 045-831-1510
- 39 オカモトジュエリーアトリエ&ショップ 045-835-1233
- 40 小原オートサービス 045-831-6336
- 41 (株)マック 045-847-0951
- 42 はなよし 045-833-2721
- 43 B&C SHOP 045-834-0769
- 44 ブックスキタミ港南台店 045-831-3246
- 45 お茶と海苔のいしだ園 045-833-3448

生活サービス・その他

- 46 (株)トータルエージェント 045-294-5675
- 47 おふろの王様港南台店 045-830-2603
- 48 Kids Duo 港南台 045-352-8585
- 49 (株)三春情報センターミック港南台駅前店 045-832-5211
- 50 クリーニングミコ 045-832-2431
- 51 イヨリダンススタジオ港南 045-835-5668
- 52 (有)エルウェーブ港南台スイミングスクール 045-832-2407
- 53 (有)神奈川空調工業 045-390-0852
- 54 ぐらしの友港南台総合斎場 045-836-3430
- 55 港南台駅前郵便局 045-833-1686
- 56 シロヤクリーニング港南台店 045-834-0456
- 57 ジアス港南台 045-832-1800
- 58 添田悦子税理士事務所 045-832-4537
- 59 ENEOS・辰巳興産 045-832-5883
- 60 (株)はまげ新聞社 045-662-4390
- 61 ファミリーホール港南台 045-831-9000
- 62 ライフブランクリニック 045-832-0770
- 63 (有)加藤豊店 045-842-1781
- 64 (有)ヘアサロン・スカット港南台 045-832-5958
- 65 セカンド・ストリート 045-835-1360
- 66 横浜港南台東郵便局 045-831-3733
- 67 横浜清水橋郵便局 045-833-4100
- 68 POLA THE BEAUTY港南台店 045-832-7374
- 69 HAIR MAKE OFFICE BB 045-349-7669
- 70 キラッとハウス 0120-979-664

港南台夏祭り(8月)



キャンドルナイト in 港南台(秋頃)



★ コドコから? の答え



(2022.12.31現在)

港南台 イベントこよみ

港南台では、四季を通じてみんなが行き交う行事がたくさん開催されています。ぜひでかけてみて。

※開催可否については事前にご確認ください。
(参考:「港南台街&暮らし白書」)



314. 「幼稚園は港南台」という家族



315. ホームケアクリニック横浜港南(左) ハワイ在住(元住民)(右)



316. キラッとハウス看板娘



317. 仲よし母娘



318. ベイスターズファン



319. The 吹部♪



320. ポーラザビューティー-港南台



[vol.13] 2023年

しあわせだなあと 感じるときは?

- 創刊号 1~66人
- Vol. 2 67~114人
- Vol. 3 115~145人
- Vol. 4 146~169人
- Vol. 5 170~197人
- Vol. 6 198~219人
- Vol. 7 220~236人
- Vol. 8 237~255人
- Vol. 9 256~273人
- Vol. 10 274~297人
- Vol. 11 298~305人
- Vol. 12 306~313人まで掲載

すたっふ つぶやき

知っていたつもりなのに、ほんの一部しか知らなかった…「ふ〜のん」の取材をしていていつも思うことです。お話を伺うと、ぼぼっと心の中に花が咲くよう。その花を、両の手のひらに乗せてまちの人に届けたい。(岡野)

SORA さんの取材で園児と手をつなぎ、北公園へ。女の子から「なまえは？」と聞かれてドキドキ。人懐っこい笑顔にほっこり。このまちで、すすくすのびのびと育て欲しい。(かんの)

久しぶりの中学生登場がうれしい。保育園の子どもたちも元気いっぱい、もちろん支える大人たちも。生き生きした港南台が感じられる号になりました。次号も乞うご期待！(金子)

「え、もう港南台に10年も住んでるの？」と10歳になった子どもに聞かれ、「あなたが生まれて10年だね」と答える私。でも、まだまだ知らない風が沢山あるこのまち。それを楽しみにしている1人の読者でもあります(〆)(倉松)

部活。小学生の頃、中学に入ったら何やろうかなとドキドキしていたのを思い出す。あの時の出会いや経験が今でも自分の大部分を形成しているのだと気づく。青春のスタート、みんな輝け！(塩崎)

カメラを見つけ、撮って！撮って！と集まる園児。キラキラの瞳の奥はたっぷりの好奇心。こっちょと誘われて、つつじの中の大冒険。体が小さくなれるなら、なって遊んでみたかった。(藤沼)

夢多き青春まっただ中の元気な中学生と、輝かしい青春を経て夢を持ち続け輝いている人に出会い、まぶしくらいの元気をもらいました。「夢」持ちましょうね。(万木)

「ふ〜のん」創刊から関わっているが、年を重ねるごとに編集チームの熱量があがっている。誌面は優しく&クールに見えるが、裏側はかなりアチチ！な「ふ〜のん」ですよ！(さいとう)

いつもは中学生に、街の魅力を取材してもらっていますが、今号では地元の中学生を逆取材！コロナ禍でも活発に活動する若い力にこれからの街づくりを期待できそうです。(恩田)

春ですね。巣立っていく人たちにエールを。そして、ここへ帰ってくる心安する、港南台がいつまでもそんな街であってほしいと思います。(たなか)

自分の生活に必要なものが揃っている港南台に、時々自転車で1時間かけてよく行きます。ふ〜のんに関わることで僅れの港南台にじわじわと近づいていると思うと嬉しです。(八巻)

港南台タウンカフェ サポーター募集中



「ふ〜のん」発行や、テント村運営・市民レポーター育成など、港南台のまちづくり活動推進のためにご協力をお願いします。

サポート費用 一口1,000円(年間) 複数口も歓迎いたします
(団体・企業様は10口以上でお願いしています)

ゆうちょ銀行振替口座 00290-0-124517 港南台タウンカフェ
※港南台タウンカフェでの納入も可能です(現金のみ)

詳細はこちらまで 港南台タウンカフェ TEL: 045-832-3855 FAX: 045-832-3864



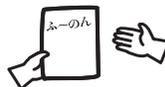
あなたにできること



カンパで協力



サポーター
(応援会員)になる



読み終わったふ〜のんを
知り合いに手渡す



まちのネタを集めて
知らせる



ふ〜のんの
感想を寄せる

港南台タウンカフェサポーター

杉浦真知子／川嶋庸子／松本和子／渡辺ひとみ／金城まゆみ／篠崎桂子／野口幸子／川崎治美／村田尚子／藤井照子／長谷川淳／石山恒貴／鈴木千賀子／
斉藤麻利子／松浦先信／笹浪真一／匿名希望の方数名(敬称略・順不同)
※2021年10月～2022年9月末までにご協力いただいた方を紹介します。

(有)洋光／(株)住宅リフォーム神奈川／(株)SUSHAYA／吉田歯科クリニック／(株)一幸堂／

港南台 NEXUS DENTAL CLINIC／コミュニティハウス Umbrella／港南台街&暮らし白書づくりプランナーズ会議

お問合わせ 港南台タウンカフェ

TEL: 045-832-3855

住所: 横浜市港南区港南台4-17-22 ブックスキタミ2F

URL: <http://www.town-cafe.jp>

発行: 横浜港南台商店会、港南台タウンカフェ通信編集委員会

後援: 港南台連合自治会、日野連合町内会 制作: 株式会社イータウン

ボランティアスタッフ

(企画・取材・編集)

磯貝 治代

岡野 富茂子

金子 いずみ

菅野 裕子

倉松 久美子

塩崎 水映子

藤沼 理保

万木 弘美

事務局

齋藤 保・田中 和美

横浜港南台商店会情報部会

恩田 学・安川 達哉・西原 新吾

デザイン

八巻 直子

この冊子が、まちへの関心を生み出したり、
 新しい出会いや楽しいことが生まれるきっかけになればいいな…。
 地元商店主、学生、主婦…みんなそれぞれの暮らしの中で
 まちへの思いをもってつくりあげた、参加型の手づくり情報マガジンです。
 ふ〜のんで一緒にまちを楽しんでいただけたら嬉しいです。



「ふ〜のん」は、「彫刻と野鳥とマロニエの街・港南台」をキャッチフレーズに
 まちづくり活動を行う「横浜港南台商店会」と地元の市民ボランティアや学
 生、「港南台タウンカフェ」が連携して編集委員会を設置し、企画編集発行して
 いる、市民参加型の手づくり情報マガジンです。
 商店会の事業費の他、行政の補助や港南台タウンカフェサポーター会費等で
 運営・発行しています。
 みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。